「ニールスのふしぎな旅　下」まえがき

矢崎源九郎

青空文庫

「ニールスのふしぎな旅」の上巻を、お読みにならなかった方のために、作者のラーゲルレーヴさんのことと、このお話に出てくる人や鳥たちのことを、かんたんに説明しておきましょう。

セルマ・ラーゲルレーヴさんは、一八五八年、スウェーデンのヴェルムランドという地方に生まれました。足がすこし不自由だったせいもあって、小さいときから本を読むことが大すきでした。二十三歳のころ女子高等師範学校にはいり、そこを卒業してからは、しばらく女学校の先生をしていました。そのころ、故郷の伝説をもとにして「イエスタ・ベルリング物語」という作品を書き、これによってラーゲルレーヴさんは一躍有名になりました。

一九〇二年には、スウェーデンの教育会から、子どもに読ませるための本をたのまれました。そこで、ラーゲルレーヴさんは、三年のあいだ鳥やケモノの生活をくわしくしらべました。こうして苦心したあげく、ようやく書きあげたのが、この「ニールスのふしぎな旅」です。

ラーゲルレーヴさんは、このほかにも、たくさんの作品を発表しています。こうした文学上の活躍が認められて、一九〇九年には女の人としてはじめての名誉であるノーベル文学賞を受けました。

そのうちに第二次大戦がはじまり、ラーゲルレーヴさんは、この戦争がだんだん大きくなっていくのを心配しながら、一九四〇年に息をひきとりました。

さて、この「ニールスのふしぎな旅」は、ニールス・ホルゲルッソンというお百姓の男の子のお話です。いたずら小僧のニールスは、おとうさんやおかあさんの留守のまに、小人をからかったため、小人の姿に変えられてしまいました。ちょうどその時、ニールスの家の上を通りかかったガンのむれが、ニールスの家の白ガチョウを空の旅にさそおうとしたので、ニールスはあわてて止めようとして、かえって、じぶんもガチョウのせなかにのったまま、空の旅に出ることになってしまいました。

それから、小さいニールスは、家も食べ物も何もない、野の生き物たちと生活をともにして、小さな生き物たちの苦しみや悲しみをつぶさに知ります。また、この旅のあいだに、スウェーデン各地の伝説や、おもしろい風俗や、ためになることをたくさん学びます。

今まで生き物さえ見れば、いじめたり、からかったりばかりしていたニールスのことを、野の鳥やケモノたちのほうでも、よく思っていませんでした。けれども、ニールスが、リスの親子のいのちを助けたり、キツネのズルスケからガンのむれを守ってやったおかげで、だんだんにガンの仲間や、いろいろなケモノたちと仲よしになることができました。

わるもののキツネのズルスケは、下巻のほうのお話にも出てきています。なんとかしてガンのむれを食いちらし、ニールスを殺してしまおうと、つけねらっているのです。

ガンのむれの隊長アッカは、年をとった、ちえのあるりっぱな女のガンです。はじめは人間の子のニールスをきらっていましたが、のちにはニールスのちえと親切に感心して、「オヤ

ユビ太郎」とか「オヤユビくん」と呼んで大事にしています。

このお話の中で、もうひとり大事な役をしているのは、ニールスの家に飼われていた白いガチョウのモルテンです。モルテンは、ガンのむれに誘われて、空の旅に出ましたが、人に飼われていた鳥なので、いろいろと苦労をかさねます。空の旅のあいだじゅう、ニールスをせなかにのせて飛んでいくのがこの鳥です。

これで、上巻に出てきたおもな人や鳥たちのことはおわかりになったと思います。では、ニールスやガンのむれといっしょに、スウェーデンの空の旅の後半を、おつづけください。

矢崎源九郎

青空文庫情報

底本：「ニールスのふしぎな旅　下」岩波少年文庫、岩波書店
　1954（昭和29）年1月20日第1刷発行
　1980（昭和55）年5月10日第8刷発行
※底本における表題「まえがき」に、底本名を補い、作品名を「「ニールスのふしぎな旅　下」まえがき」としました。
入力：sogo
校正：チエコ
2019年10月28日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

「ニールスのふしぎな旅　下」まえがき

矢崎源九郎

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/